

ルーミス・グローバル債券ファンド (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ルーミス・グローバル債券ファンド (毎月決算型)」は、2019年7月10日に第149期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を除く世界各国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年1月11日～2019年7月10日

第144期	決算日：2019年2月12日	
第145期	決算日：2019年3月11日	
第146期	決算日：2019年4月10日	
第147期	決算日：2019年5月10日	
第148期	決算日：2019年6月10日	
第149期	決算日：2019年7月10日	
第149期末 (2019年7月10日)	基準価額	5,835円
	純資産総額	2,434百万円
第144期～ 第149期	騰落率	4.5%
	分配金合計	60円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書 (全体版) を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書 (全体版) は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

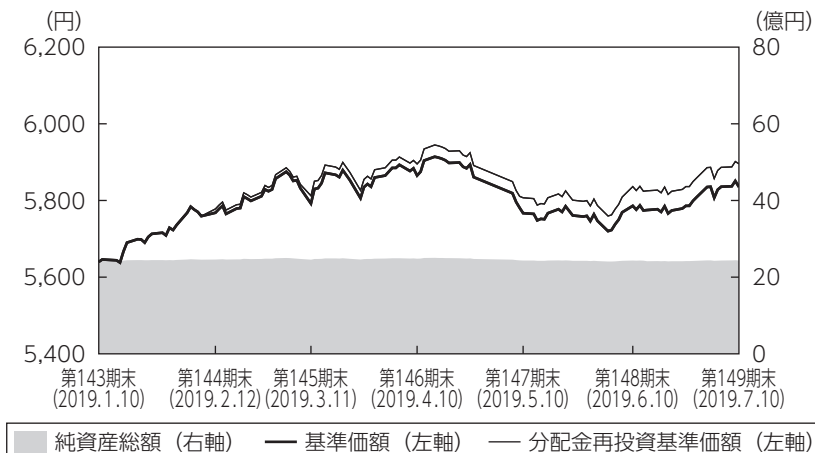
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第144期首： 5,640円
 第149期末： 5,835円
 (既払分配金60円)
 騰落率： 4.5%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

「ルミス・グローバル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界各国の公社債へ投資を行った結果、保有する債券の価格が上昇（利回りは低下）したことや、米ドルが対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第144期～第149期		項目の概要
	(2019年1月11日 ～2019年7月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	47円	0.803%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,804円です。
(投信会社)	(26)	(0.455)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(19)	(0.321)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	3	0.046	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.032)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.011)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	50	0.849	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

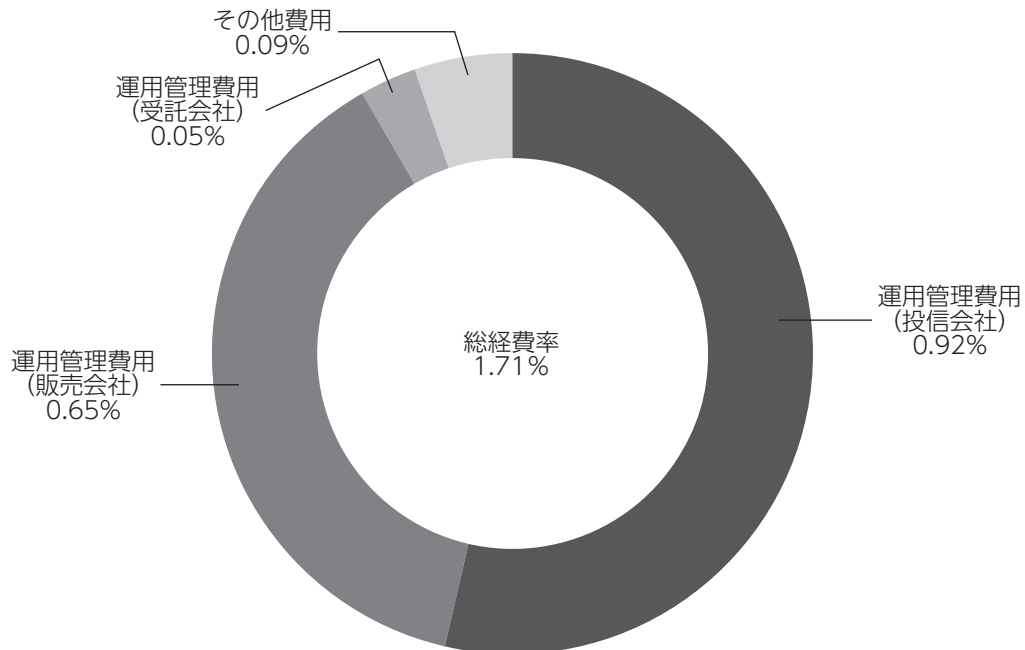
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



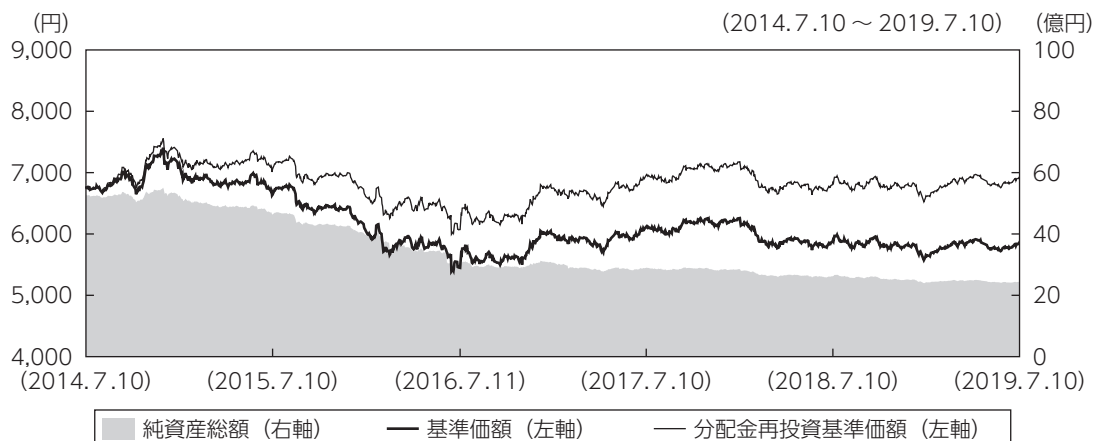
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



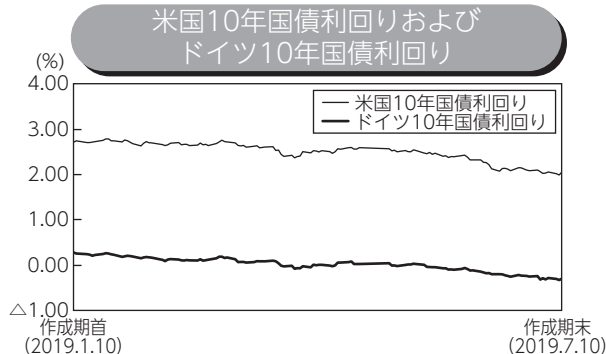
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年7月10日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2014年7月10日 期首	2015年7月10日 決算日	2016年7月11日 決算日	2017年7月10日 決算日	2018年7月10日 決算日	2019年7月10日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	6,776	6,643	5,449	6,118	5,894	5,835
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	420	295	120	120	120
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	4.2	△14.0	14.6	△1.7	1.1
参考指数の騰落率	(%)	—	12.7	△12.4	12.5	△0.8	3.0
純資産総額	(百万円)	5,278	4,639	2,922	2,898	2,630	2,434

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はブルームバーグ・パークレイズ・グローバル総合 (日本円除く) インデックス (為替ノーヘッジ・円ベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いております。

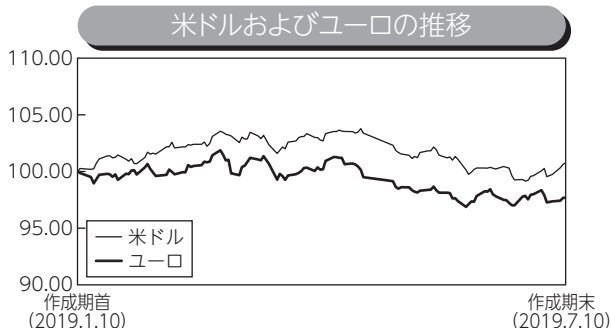
投資環境

● 海外債券市況と為替市場



米国国債市場は、トランプ米大統領が対中関税引き上げを表明したことを受け、米中貿易摩擦への警戒感が高まったことや、米連邦準備制度理事会（F R B）が金融政策を緩和方向へ転換する可能性を示唆したことなどから、作成期を通じて上昇しました。また、ドイツ国債市場は、米中貿易摩擦や英国の欧州連合（E U）離脱をめぐる不透明感に加え、F R Bや欧州中央銀行（E C B）による利下げ観測の浮上などから、作成期を通じて上昇しました。投資適格社債市場は、米国、欧州ともに上昇しました。信用スプレッドは、米国、欧州ともに全般的に縮小し、中でも金融会社セクターの縮小が目立ちました。

先進国の高利回り債市場および新興国の公社債市場は上昇しました。作成期を通じ米国国債利回りが低下したことなどが上昇要因となりました。



為替市場（対円）は、米ドルが上昇した一方で、ユーロは下落しました。米ドルは、作成期前半にかけて米政府機関の再閉鎖回避や米中貿易協議の進展期待などから上昇しましたが、後半にかけては早期利下げ観測の高まりなどから上昇幅を縮小しました。ユーロについては、E C Bがユーロ圏の経済見通しを引き下げたことや英国のE U離脱をめぐる不透明感などから下落しました。

(注) 作成期首の値を100として指数化しています。

ポートフォリオについて

●当ファンド

「ルーミス・グローバル債券マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお、実質組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

●ルーミス・グローバル債券マザーファンド

資産配分比率については、先進国の投資適格債を基本配分比率（60%）より高めに維持しました。先進国の高利回り債および新興国の公社債については、基本配分比率（それぞれ20%）より低めを維持しました。

債券の種別配分については、普通社債の組入比率を引き下げた一方、国債の組入比率を引き上げました。格付け別比率は、米国国債の組入を増やしたことに伴いAAA格の組入比率を引き上げた一方、BBB格の組入比率を引き下げました。

修正デュレーションについては、6.0から6.5程度としました。

投資通貨については、米ドル、ユーロを中心としつつ、英ポンド、カナダドル、インドネシアルピアなどへの配分も維持しました。為替ヘッジは行いませんでした。

上記の通り運用を行った結果、基準価額は5.5%上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

(主な上昇要因)

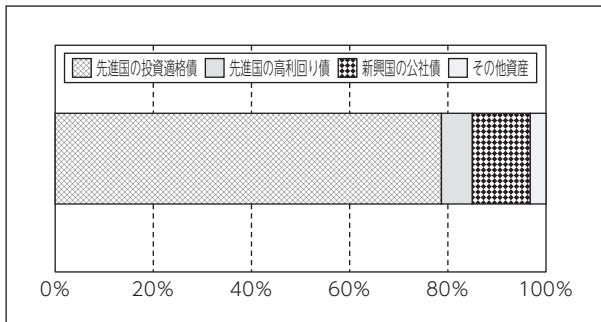
- ・保有する債券の価格が上昇したこと
- ・債券投資による利息収入

(主な下落要因)

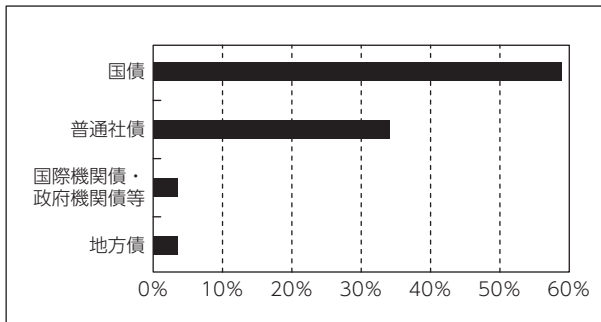
- ・ユーロが対円で下落したこと

作成期末

〔資産別配分比率〕



〔種別組入比率〕

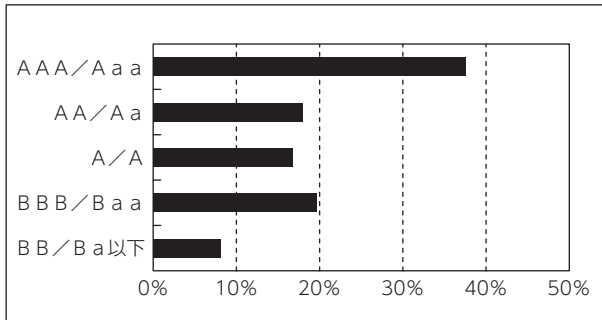


(注1) 上記比率は、ルーミス・グローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する割合を表示しています。

(注2) その他資産には現金、経過利息等を含みます。

(注) 上記比率は、ルーミス・グローバル債券マザーファンドの債券部分を100%換算したものをを用いています。

【格付別比率】

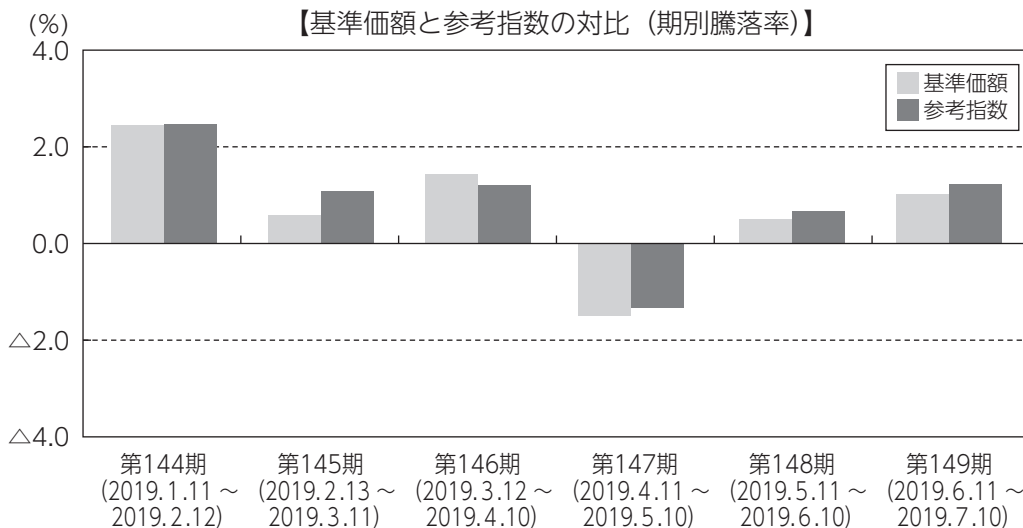


(注1) 上記比率は、ルミス・グローバル債券マザーファンドの債券部分を100%換算したものをしています。

(注2) ファンドの格付は、S & P、Moody'sのうち高い方の格付を採用しています。

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金は、利息収入相当分を中心とし、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2019年1月11日 ~2019年2月12日	2019年2月13日 ~2019年3月11日	2019年3月12日 ~2019年4月10日	2019年4月11日 ~2019年5月10日	2019年5月11日 ~2019年6月10日	2019年6月11日 ~2019年7月10日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.173%	0.172%	0.170%	0.173%	0.173%	0.171%
当期の収益	10円	10円	10円	7円	10円	10円
当期の収益以外	-円	-円	-円	2円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	217円	220円	224円	222円	224円	227円

(注1)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「ルーミス・グローバル債券マザーファンド」の組入れを高位に維持します。

●ルーミス・グローバル債券マザーファンド

世界経済の見通しについては、米国・欧州ともに年内は減速傾向が続くものとみています。米国とドイツの国債利回りについては、欧米の政治情勢を巡る不透明感やFRBによる利下げ観測の高まりなどが意識される中、その動向に左右される場面も予想されますが、中長期的には緩やかに上昇するとみています。債券種別配分については、相対的に利回り水準が高い社債に投資妙味があると考えます。

このような中、当ファンドは、ファンダメンタルズ分析の下、流動性に留意しつつ、割安な銘柄への投資機会を探っていきます。

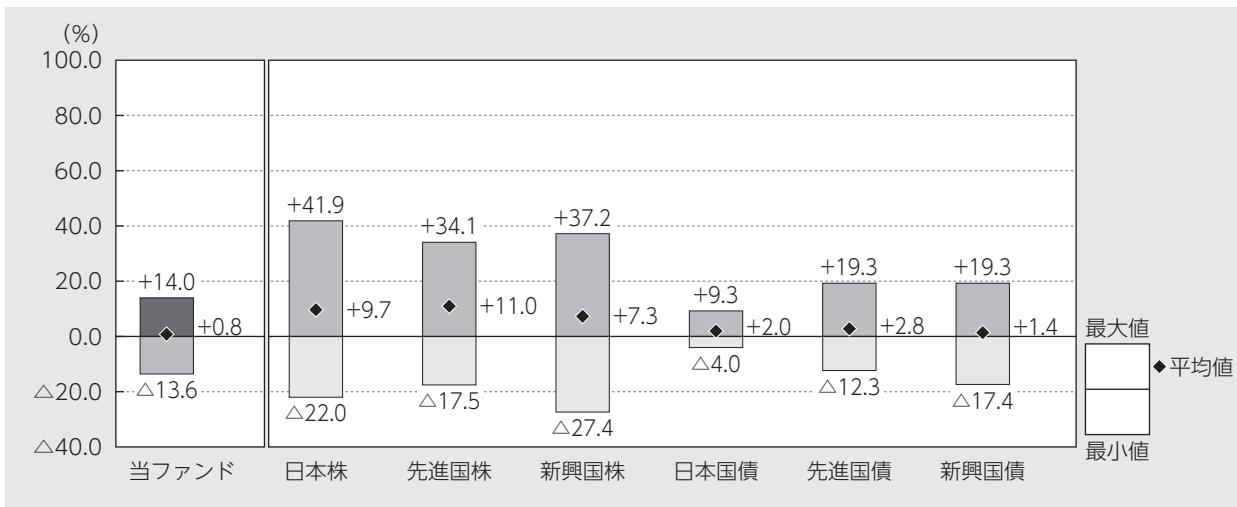
資産配分については、「先進国の投資適格債」の組入比率を基本配分比率（60%）よりも高めで維持する方針です。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2007年1月31日から無期限です。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	日本を除く世界各国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	ルミス・グローバル債券ファンド（毎月決算型）	ルミス・グローバル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ルミス・グローバル債券マザーファンド	日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	<p>ファンド全体の加重平均格付けは、BBB格相当以上に維持することを基本とします。公社債の組入比率は、高位を保つことを基本とします。先進国の投資適格債60%、先進国の高利回り債20%、新興国の公社債20%を基本配分比率とします。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>ルミス・グローバル債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、ルミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーに委託します。</p>	
分配方針	<p>第3期以降、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。以下同じ。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として利息収入相当分を中心とし、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>なお、売買益等については、原則として毎年5月および11月の決算時に分配を行うことを目指します。ただし、分配対象額が少額の場合ならびに委託会社が基準価額の水準、市況動向を勘案したうえで、分配を見送る場合があります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビエーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年7月～2019年6月

(注1) 上記のグラフは2014年7月から2019年6月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年7月10日現在）

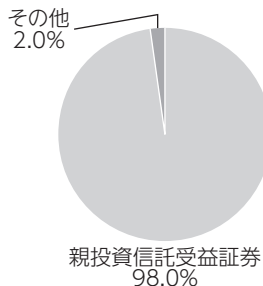
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	第149期末
	2019年7月10日
ルミス・グローバル債券マザーファンド	98.0%

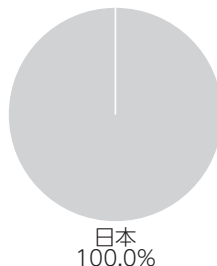
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

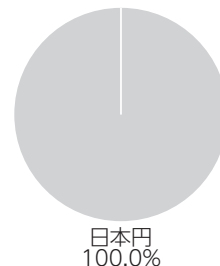
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

純資産等

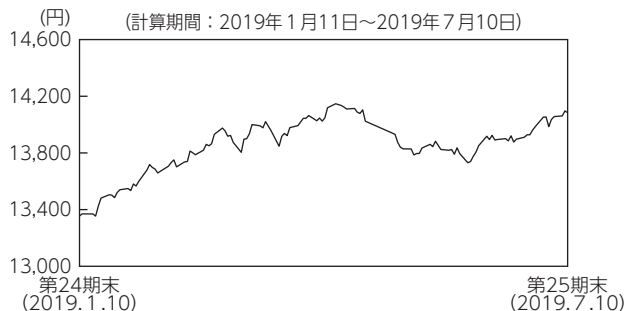
項目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
	2019年2月12日	2019年3月11日	2019年4月10日	2019年5月10日	2019年6月10日	2019年7月10日
純資産総額	2,458,438,611円	2,457,469,479円	2,481,917,835円	2,432,922,133円	2,433,325,257円	2,434,924,936円
受益権総口数	4,262,547,967口	4,242,608,594口	4,231,434,033口	4,219,051,432口	4,205,873,725口	4,172,849,129口
1万口当たり基準価額	5,768円	5,792円	5,865円	5,767円	5,786円	5,835円

(注) 当作成期間（第144期～第149期）における追加設定元本額は4,787,206円、同解約元本額は121,877,875円です。

組入ファンドの概要

【ルーミス・グローバル債券マザーファンド】（計算期間 2019年1月11日～2019年7月10日）

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

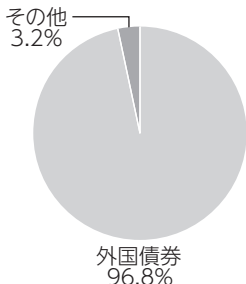
項目	(2019年1月11日～2019年7月10日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額	13,869	—
(a) その他費用 (保管費用)	6	0.044
(その他)	(5)	(0.033)
合計	6	0.044

◆組入上位銘柄

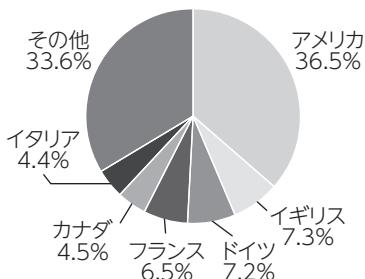
(組入銘柄数：135銘柄)

順位	銘柄	種別	通貨	利率	償還日	比率
1	UNITED STATES	国債	米ドル	2.375%	2029/05/15	4.3%
2	ITALY	国債	ユーロ	1.250%	2026/12/01	3.3%
3	UNITED STATES	国債	米ドル	2.500%	2020/12/31	3.2%
4	FRANCE	国債	ユーロ	4.250%	2023/10/25	3.0%
5	UNITED STATES	国債	米ドル	2.875%	2028/05/15	2.6%
6	GERMANY	国債	ユーロ	3.000%	2020/07/04	2.5%
7	UNITED STATES	国債	米ドル	4.250%	2040/11/15	2.2%
8	UNITED STATES TREASURY INFLATION INDEXED BONDS	国債	米ドル	0.125%	2022/04/15	2.1%
9	UNITED KINGDOM	国債	英ポンド	3.250%	2044/01/22	2.0%
10	UNITED STATES	国債	米ドル	2.625%	2023/12/31	2.0%

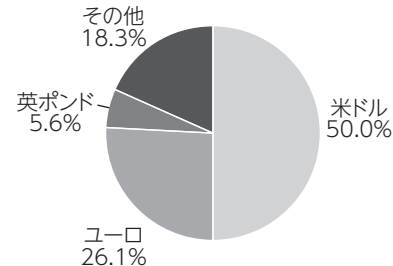
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものであります。費用の項目の概要については2頁をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（為替ノーヘッジ・円ベース）

ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

